

平成25年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

宇都宮市立清原東小学校

家庭や地域から「信頼される学校」であるためには、「開かれた学校づくり」を推進し、学校の状況や児童の実態を保護者や地域の方々に十分御理解いただく必要があります。その上で、家庭や地域と一体となって児童を育てることが大切であると考えています。

こうした考えから、平成25年度「全国学力・学習状況調査」における本校児童の学力や学習状況の概要について、以下のとおり公表します。

また、調査結果は、学習指導の工夫・改善に役立てることが大切ですので、調査結果の分析、指導の改善策などを併せて掲載します。

I 調査の概要

1 目的

- ア 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における、児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- イ 各教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ウ 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査期日

平成25年4月24日（水）

3 調査対象

第6学年

4 本校の参加状況

① 国語A	67人	国語B	67人
② 算数A	67人	算数B	67人

5 留意事項

- (1) 本調査は、対象となる学年が限られており、実施教科が国語、算数の2教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、児童が身に付けるべき学力の特定の一部であることに留意することが必要となります。
- (2) 本概要では、国語と算数の「全体的な傾向」、「分類・区分別の傾向と課題」、「児童質問紙調査の状況」「指導改善のポイント」を考察・記述しています。

Ⅱ 調査結果の概要

1 国語

全体的な傾向

- ・国語 A（知識）の平均正答率は、全国平均とほぼ同程度である。
- ・国語 B（活用）の平均正答率は、全国平均をやや下回っている。

分類・区分別の傾向と課題

●…課題があるもの

【話すこと・聞くこと】

- A 領域の平均正答率は全国平均より低い。

⇒● この領域からの出題は、選手宣誓文の表現の工夫とその効果を説明したものとして適切なものを選択する設問の1問である。スピーチにおいて、比喩法や倒置法などの表現方法を適切に捉えることに課題がある。

【書くこと】

- B 領域の平均正答率は、全国平均より2%高い。

【読むこと】

- A 領域の平均正答率は、全国平均より低い。

⇒● この領域からの出題は、マナーに関する広告を読み、編集の仕方の特徴をまとめたものとして適切なものを選択する設問などの3問である。広告を読み、編集の特徴を捉えることに課題がある。

国語に関する児童質問紙調査の状況

●…課題があるもの

《傾向》

- 国語に関するすべての質問において、肯定的な回答の割合は全国平均と比べて高い。
- 「読書は好き」と回答している児童の割合は、全国平均と比べて特に高い。

指導改善のポイント

【話すこと・聞くこと】

- ・話す・聞く能力を育むために、日常の場面においても共通のテーマを課題とし、話し手や聞き手の立場を明らかにした上で、児童が自らの思いや意見を伝え合う機会を数多く設定する。

【読むこと】

- ・読解能力を育むために、登場人物や作品の構造、表現や叙述に即した読みの指導や、同じ作者や同じ題材の作品を比べて読む並行読書を取り入れた指導など、効果的な読み方の理解や読書活動の充実を図る。

2 算数

全体的な傾向

- ・算数 A（知識）の平均正答率は、全国平均をやや上回っている。
- ・算数 B（活用）の平均正答率は、全国平均をやや下回っている。

分類・区分別の傾向と課題

●…課題があるもの

【数と計算】

- B 領域の平均正答率は、全国平均より低い。
⇒● 三つの買い方の中から最も安くなる買い方を選択し、その選択が正しい理由を記述する設問の正答率は、全国平均より低い。考察したことを数と言葉を用いて記述することに課題がある。

【図形】

- A 領域の平均正答率は、全国平均より4%高い。

算数に関する児童質問紙調査の状況

●…課題があるもの

《傾向》

- 算数に関するすべての質問において、肯定的な回答の割合は全国平均と比べて高い。
- 「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答している児童の割合は、全国平均と比べて特に高い。

指導改善のポイント

【その他】

- ・ 図、式、言葉などを用いて考え、それらを関連付けて説明する力を育むために、問題解決におけるノート指導の充実を図る。その際、児童が問題に適した表現方法を用いることができるよう、意図的に指導することも大切である。
- ・ 式の意味についての理解を深めるために、友だちの考えた式を読みとり、自分の考えと比較検討するなど、他者の表現を解釈する活動を取り入れる。

3 児童質問紙調査

●…課題があるもの

《傾向》

- 友達の前で自分の考えや意見を発表することについての肯定的な回答の割合は、全国平均と比べて特に低い。
- 将来の夢や目標を持っているかについての肯定的な回答の割合は、全国平均と比べて特に高い。
- 将来の夢や目標を実現するために努力しているかについての肯定的な回答の割合は、全国平均と比べて特に高い。